

議題 2 (委員会決裁事項 (規則第 3 条第 1 号))

大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校  
再編整備計画に基づく令和元年度実施対象校 (案) について

標記について、次のとおり方針を示し周知を行うことを決定する。  
その上で、様々な意見を踏まえ、11 月の教育委員会会議において最終決定する。

令和元年 8 月 29 日

大阪府教育委員会

## 1 令和元年度の方針

令和元年度は、工科高校及び国際関係学科における改編に着手する。

## 2 改編する工科高校

対象校（所在地）	改編時期
いばらき 茨木工科高校 （茨木市）	令和3年度 入学者から
にしのだ 西野田工科高校 （大阪市）	
じょうとう 城東工科高校 （東大阪市）	

## 3 国際関係学科の改編

### （1）国際文化科への改編

学科	対象校	所在地	改編時期
国際文化科 （普通科併置）	あさひ 旭高校 （国際教養科・普通科併置）	大阪市	令和3年度 入学者から
	ひらかた 枚方高校 （国際教養科・普通科併置）	枚方市	
	はなぞの 花園高校 （国際教養科・普通科併置）	東大阪市	
	ながの 長野高校 （国際教養科・普通科併置）	河内長野市	
	さの 佐野高校 （国際教養科・普通科併置）	泉佐野市	
国際文化科 （総合科学科併置）	せんり 千里高校 （国際文化科・総合科学科併置）	吹田市	
	すみよし 住吉高校 （国際文化科・総合科学科併置）	大阪市	
	せんぼく 泉北高校 （国際文化科・総合科学科併置）	堺市	

(2) グローバル科への改編

学科	対象校	所在地	改編時期
グローバル科 (普通科併置)	<small>みのお</small> 箕面高校 (国際科 (グローバル科)・ 普通科併置)	箕面市	令和3年度 入学者から
	<small>いずみ</small> 和泉高校 (国際科 (グローバル科)・ 普通科併置)	岸和田市	

## 4 対象校の選定理由

### (1) 工科高校の改編

- ・ 「大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画（2019（平成31）年度から2023年度）」に基づき、本年度は、3つの重点化タイプ（高大連携重点型、実践的技能養成重点型、地域産業連携重点型）から各1校を選び、次の3校の改編に着手する。
- ・ **茨木工科高校**は、高大連携重点型校として工学系大学進学専科を設置し、機械、電気のほか環境化学システム系を設置している学校である。同校においては、大学と連携して遠隔操作や測定などに利用される通信技術を活用し、「小型人工衛星の打ち上げ」などに取り組んでおり、今後、IoT技術に対応できる取組みを一層発展させることとする。
- ・ **西野田工科高校**は、実践的技能養成重点型校として機械、電気のほか、府立で唯一である建築都市工学や、工業デザイン系を設置している学校である。同校においては、これまで、屋上ビオトープの設置など都市環境や住環境等につながる学習に取り組んできており、今後、防災やユニバーサルデザインなど次世代の住環境を考える取組みを一層発展させることとする。
- ・ **城東工科高校**は、地域産業連携重点型校として、機械、電気、メカトロニクス系を設置している学校である。同校においては、近隣の企業技術者から生徒が溶接技術などの直接指導を受ける機会を設けるとともに、校内起業「城工房」をつくるなど、技術者からの技能技術の継承につながる企業との連携に取り組んできており、今後、これらの取組みを一層発展させることとする。

#### 《参考》

「大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画（2019（平成31）年度から2023年度）」における工科高校のさらなる魅力づくり（概要）

各校が持つものづくり教育の強みを際立たせるとともに、実践力と技術の進展に対応できる力を身に付けさせるためのきめ細かな指導の実現、大学や企業等との連携の深化等に向けた取組みを進める。

- ものづくり教育の特色化
  - ・ 技術の高度化・融合化への対応
  - ・ 実社会に密着したテーマを題材にした専門学習の推進
  - ・ 技術者から学ぶ機会、現場体験実習の充実

#### ○PBL(※)の導入

※ 課題解決型学習。自ら設定した課題、または与えられた課題を解決していく過程で様々な能力を育成する学習。

- 学校規模は、原則として1学年6学級35人編制とする。

## (2) 国際関係学科の改編

- ・ 「大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画(2019(平成 31)年度から 2023 年度)」に基づき、府内の中学生が通学しやすい地域バランスに配慮し、豊かな国際感覚と優れた外国語運用能力を身に付け、国際的に活躍できる人材をさらに育成する観点から、国際関係学科を国際文化科とグローバル科の 2 科に改編し、これまでの取組みを発展・深化させる。

### ○国際文化科

- ・ **旭高校**は、府内最多の第二外国語の授業（6 言語）を開講し、姉妹校等との相互交流や異文化理解講座などを通じて異文化理解教育を推進するとともに、地域と協力して熊本復興支援として物産展や県立高校生との交流といった社会貢献活動の実績がある。
- ・ **枚方高校**は、4 言語の第二外国語の授業を開講し、平成 23 年からはユネスコスクールとして様々な国から留学生を受け入れるなど、多文化理解教育を実践するとともに、枚方ハーフマラソンボランティアなどの社会貢献活動へも参加している。
- ・ **花園高校**は、3 言語の第二外国語の授業を開講し、ICT等を活用してオーストラリアの姉妹校の生徒たちや開発途上国で活躍する日本人との交流を行うとともに、地元の活性化やラグビーワールドカップ応援プロジェクトに取り組むなどの社会貢献活動の実績がある。
- ・ **長野高校**は、4 言語の第二外国語の授業を開講し、平成 21 年からはユネスコスクールとして、フェアトレードの普及活動や国際理解教育を推進するとともに、小学生の通学見守りといった地域への貢献活動を行っている。
- ・ **佐野高校**は、4 言語の第二外国語の授業を開講し、平成 24 年からはユネスコスクールとして ESD※1 を推進し、開発途上国での研修を実施するとともに、地域防災活動の一環である多言語対応への協力といった社会貢献活動などに取り組んでいる。
- ・ **千里高校**は、5 言語の第二外国語の授業を開講し、平成 27 年度からは S G H※2 の指定校として、また、平成 31 年度からは W W L コンソーシアム構築支援事業※3 連携校として国際機関等と連携した活動を行うとともに、S D G s ※4 に関連した社会的課題解決をめざす研究を実践している。
- ・ **住吉高校**は、4 言語の第二外国語の授業を開講し、平成 20 年からはユネスコスクールとして、北米等の先進国での語学研修や開発途上国でのフィールドツアーを実施するとともに、募金活動などの社会貢献活動を実施している。
- ・ **泉北高校**は、4 言語の第二外国語の授業を開講し、平成 26 年からはユネスコスクールとして長期留学生を受け入れ、トビタテ留学 J A P A N※5 奨学生を毎年輩出するとともに、平成 27 年度からは S G H の指定校として S D G s に関連した課題研究や社会貢献活動を実施している。

- ※1 ESD（持続可能な開発のための教育）とは、環境、貧困、人権、平和、開発といった現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題の解決につながる新たな価値観や行動を生み出すこと、そしてそれによって持続可能な社会を創造していくことをめざす学習や活動。
- ※2 SGH（スーパーグローバルハイスクール）とは、文部科学省が平成26年度から開始した事業で、高等学校等におけるグローバル・リーダー育成に資する教育を通して、生徒の社会課題に対する関心と深い教養、コミュニケーション能力、問題解決力等の国際的素養を身に付け、将来、国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図ることを目的とする。
- ※3 WWL（ワールドワイドラーニング）コンソーシアム構築支援事業とは、文部科学省が令和元年度から開始した事業で、SGH事業などの取組みの実績を活用して、高等学校等と国内外の大学、企業、国際機関等が協働し、高校生へより高度な学びを提供する仕組みを構築するとともに、テーマ等を通じた高校生国際会議の開催等や高等学校のアドバンスド・ラーニング・ネットワークの形成によりグローバル人材を育成するもの。
- ※4 SDGs（持続可能な開発目標）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。
- ※5 トビタテ留学JAPANとは、官民協働で2014年から実施している海外留学支援制度。返済不要の奨学金や事前事後研修等の支援で、意欲ある学生の海外チャレンジを支援している。

## ○グローバル科

- ・ **箕面高校**は、卓越した英語力を育成するため、教員と生徒との即応的なやり取りを中心とした授業を実践するとともに、論理的思考力・創造力を身に付ける課題解決型授業を実施するなど、グローバル社会を牽引できる人材育成の取組みを実践している。
- ・ **和泉高校**は、GTEC※で得た4技能の到達度に応じた授業で英語力を伸ばし、大学留学を体験できる海外研修を実施するとともに、論理的思考力を身に付ける課題研究を行う授業を実施するなど、国際社会を舞台に活躍できる人材育成の取組みを実践している。

※ GTEC (Global Test of English Communication) とは、(独)大学入試センターが運営する「大学入試英語成績提供システム」に参加予定の資格・検定試験のうちの1つで、スコア型英語4技能検定のこと。

### 《参考①》

「大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画(2019(平成31)年度から2023年度)」における国際関係学科の改編(概要)

豊かな国際感覚と優れた外国語運用能力を身に付け、国際的に活躍できる人材をさらに育成する観点から、国際関係学科3科(国際教養科・国際文化科・国際科(グローバル科))を国際文化科とグローバル科の2科に改編し、これまでの取組みを発展・深化させる。

#### ○国際文化科の特色

- ・ 第二外国語や多文化理解教育を促進するため、外部人材の一層の活用や外国語検定合格・スピーチコンテスト入賞等をめざした学習に取り組む。
- ・ ICT等を活用したリアルタイムでの海外高校生との交流を進める。
- ・ 国内外での国際的な社会貢献活動への参加を促進する。

#### ○グローバル科の特色

- ・ 対話的な授業や探究的な学習を推進するため、英語に関する授業について少人数指導(20人程度)を拡充する。
- ・ 海外留学を希望する生徒に対して、海外留学に必要な教養や英語力等を身に付けさせるとともに、留学によるブランクを埋めるための学習をサポートする。
- ・ 海外大学への進学を希望する生徒に対して、進学後に必要となる討論やレポートを作成する能力を身に付けさせる。

### 《参考②》立地状況

